

生きる仲間

昭和46年1月13日 第3種郵便物認可
H・S・K通巻352号
◎発行日 平成13年7月10日
(毎月10日発行)
◎発行責任者 鈴木 啓三
◎編集 札幌腎臓病患者友の会
札幌市東区北18条東1丁目
喫茶クイーンズ内
◎発行所 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

第26回札幌腎臓病患者友の会総会 ご存知ですか？ 介護タクシー



クラーク像よりドームを望み

撮影 佐藤 功

札幌腎臓病患者友の会



新たな時代へ 更なる運動の構築を！

北区民センター
平成13年5月14日(日)
午前10時より

総会開催される！

平成十三年五月一三日(日)、北区民センターに於いて、第二六回札幌腎友会定期総会が開催されました。

堀井副会長の司会挨拶で始まり、物故会員の冥福を祈り黙祷を捧げた後、鈴木啓三会長より、「国会請願署名が一〇四万名を突破しました。この事は皆さんひとりひとりの力が大きな力と成る事を示したものです。又、透析患者が二〇万人を超え、合併症や高齢化で要介護問題が深刻になって来ています。その中で介護保険を利用した介護タクシーサービスが全国的に広がりをみせ、現在一五〇社を超え札幌市でも二社がこのサービスを行っています。私達が本当に望んでいたサービスです。しかしながら、厚生労働省は介護タクシーについて、厳しい条件を付け、各

市町村の対応も思わしく有りません。今後この様なサービスが増える様に、札幌市に対し要望して行きたい。又、**㊦**制度について、所得制限を導入しない様に要望しましたが、石狩市と北広島市については今年の導入は見送られました。札幌市は一〇月からの導入となり、引き続き要望をして行かなければなりません。今後も、今までの以上に皆様のご協力をお願い致します。」との挨拶で様々な問題に取り組んで行かなければならない事を示されました。

次に来賓の挨拶に移り、青山浪子・宮村もと子・岡千陽の各市議会議員より御祝辞を戴き、アドバイスと励ましを戴いたと思います。



受付の皆さん

第26回札幌腎友会定期



第26回札幌腎友会定期

伊藤運営委員が議長に選出され議事に入り、①平成一二年度活動報告(柳沼事務局長)、②平成一二年度決算報告(石井会計)、③平成一二年度会計監査報告(岩館・三上監査役)を一括

その他、透析食栄養士研究会会長佐藤妙子先生には、栄養食品の確保から成分の説明まで熱心にご助言を戴き、又江別腎臓病患者会・小樽後志地方腎友会の皆さんにはわざわざ当総会に駆けつけて戴き有り難うございました。次に、棚田まゆみ運営委員より祝電・メッセージ披露がありました。



宮村もと子
札幌市議会議員



青山 浪子
札幌市議会議員

最後に⑥平成一三・一四年度役員改選(案)を鈴木友幸副会長より提案後、満場一致の拍手で承認されました。議長降壇の後、光星タクシー・寿ハイヤーさんから、介護タクシーについて

して報告、質問を受けた後拍手で承認されました。休憩の後、④平成一二年度活動方針(案)について、鈴木啓三会長から提案説明、⑤平成一三年度予算(案)については石井会計より提案を受け、一括して質問を受けた後、拍手で承認されました。



佐藤 妙子
透析食栄養士研究会会長



岡 千陽
札幌市議会議員

て説明を戴きました。通院介
護について、大いに関心のあ
る事柄でした。

続いて、宮本副会長より、
「第二六回札幌腎友会定期総
会を閉会致します。」との最
後の挨拶で全て終了致しまし
た。

(報告 柳沼事務局長)

祝電・メッセージ

○敬称を略させていただきます

●札幌市保健福祉局保健衛生部
地域保健課

課長 高橋 高志

●札幌市保健福祉局保健福祉部
障害福祉担当

部長 相沢 瀏

●(財)北海道腎臓バンク

理事長 武井 正直

●市立札幌病院腎移植科

部長 平野 哲夫

●(財)北海道難病連

役員・会員一同

●札幌市議会民主党議員会

会長 伊与部敏雄

●市民ネットワーク北海道議
員会

札幌市議会議員 小林 郁子

●(社)全国腎臓病協議会

会長 油井 清治

●小樽後志地方腎友会

●オホーツク腎友会

●釧路地方腎友会

●道南腎臓病患者連絡協議会

●十勝地方腎友会

●苫小牧腎友会

●根室地方腎友会

●深川腎友会

●紋別地方腎友会

●夕張腎臓病友の会

●留萌地方水無人腎友会

サンプル提供

●大塚製薬(株)

●味の素(株)

●(株)三和化学研究所

●ベータ食品(株)



祝電・メッセージを披露
する棚田まゆみ運営委員



会計監査報告をする
岩館二男監査役



発言も活発に、熱心な討議が行なわれました

ご存知ですか？ 介護タクシー

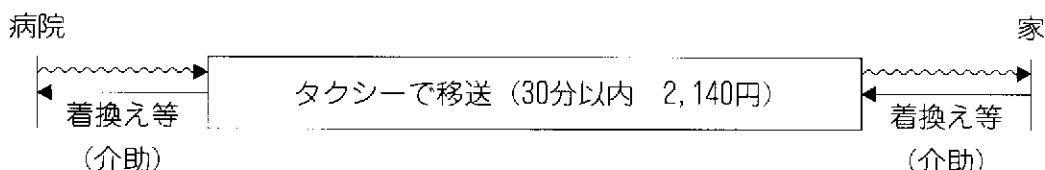
〈介護タクシーには2種類ある〉

- ① 一般向けでタクシー運賃+介助料（500円程度）を取り、障害者やお年寄を乗せて賃走するもの。
- ② 介護保険を利用し、介護認定を受けた患者さんを対象にタクシーで送迎し、その前後の介護を含めて行うもの。

今回は②の介護保険を利用し、患者さんを送迎する介護タクシーについて説明します。

タクシー会社が1～2級の介護士（ドライバー）をおいて介護保険の実施主体である自治体から介護保険の指定事業所としての認可を受け介護に係わる仕事をするもので、その中のひとつに要支援・要介護者を移送する介護タクシーがある。

- 基本的には札幌では1回30分以内2,140円（利用者は1割214円を負担する）で、タクシーで移送する前後の着換え等の介助を伴うものである事、又、30分（2,140円）を超えた場合は超過分は利用者の負担となります。



※移送で3,000円 かった場合

$$3,000円 - 2,140円 = 860円$$

$$214円 + 860円 = 1,074円の利用者負担となります。$$

●利用するには

条件として、65歳以上（介護保険で定める特定疾病に該当する人は例外）で介護が必要であるとの認定を受けなければならない。介護認定には5段階あり、それぞれ利用出来る月額が定められている。認定を受けた方は日常生活や通院のためのケアプランをケアマネジャーにたててもらわなくてはならない。

●現在札幌で利用出来るタクシー会社は

- 光屋ハイヤー 札幌市中央区北1条西21丁目2-20 TEL 641-6000
- 寿ハイヤー 札幌市南区川沿5条2丁目2番地1号 TEL 572-6000

道腎協「第二四回定期総会」

札幌大会に参加して

副会長 鈴木 友幸（札幌厚生病院）



（心身障害者医療救助事業への所得制限導入反対を）

初夏の訪れとともに、札幌市の一大イベントに発展した「よさこいソーラン祭り」が市内随所で賑やかに開催される中、去る六月一〇日、札幌市内「ホテルユニオン」において「道腎協第二四回定期総会札幌大会」が役員、来賓、会員等二二八名が出席して開催されました。

今次大会における特徴点と

しては「政治家を動かすことの大切さ」「組織活動での意思統一の大切さ」の二点にあったように思う。ここにその感想を報告したい。

来賓として出席された道議会議員榎林巖先生（社民党）は、「自分の後輩を腎臓病で無くし、義弟も腎臓病で人工透析を受け、社会復帰をするために大変な努力と苦勞をし、職場でも精神的な苦勞を味わっていたのを見て大変な病だと思っている。この教訓と皆さんの気持ちを察する時、透析医療と補助金の引き下げなどは、政治的解決が是非とも必要だと考えている。どうか、皆さん、組織を大切に、会員が心と心をつなぎ頑

張って欲しい。私も政治の場において皆さんのために頑張りたい。」等と挨拶された。

腎臓病で苦しむ私達にとつて、政治的解決とは、解決しなければならぬ問題や願いを素直に提起することであり、困っていることは、声を大きくして意見や要望を患者会が一致団結して訴えて行くことが極めて大切であること痛感した。

定期総会の中での予算案のところ、昨年、有珠山噴火災害で全国から一五〇〇万円を超える募金をいただいたことで、災害時における義援基金として七八〇万円余りを道腎協に寄付するという伊達地方腎友会（会長）側とその基金や寄付は、組織決定されていないもので道腎協からの要求のあったものだとする伊達地方腎友会会員との間で激しい意見の応酬があり、出席者、

専従事務局員も質問に加わるなど白熱したものであった。

黙って聞いていると議論の中身が見えて来て、同じ伊達地方腎友会の組織内で意思統一がされていなく、非常に見苦しい一面を露呈したと思うし、納得していない会員がいることも分かった。

また、災害義援基金を受け取った道腎協も、何の担保もなく単なる口約束で受け取ると言うやり方はいかがなものかと感じた。

組織名、年月日、金額、理山、印鑑のある日録なり、書状を証拠書類として残しておけば一発で解決することだと思つた。

それにしても組織活動の意思統一には、十分な議論が必要であることをつくづく感じたものであったことは出席者全員が思ったに違いない。

30年分のありがとう！明日への歩みとどめず

～全腎協大会に参加して～

五月二〇日ホテルイースト21東京にて東京都腎臓病患者連絡協議会協力のもと第三〇回記念全国大会が開催されました。約一〇〇〇人の会員家族、医療関係者、一般都民が参加した本大会。「三〇年分のありがとう！明日への歩みとどめず」をスローガンに進められました。歓迎の挨拶に続いて全腎協の油井会長が「患者として、社会にできること！」「三〇年間生きていて、家族に！廻りに！支えられてきた事」について切実と訴えられていたのに感銘を受けました。

次に来賓挨拶、祝電披露、感謝

状の授与、大会基調報告、新役員紹介、退任役員感謝状授与と進められました。

その後は

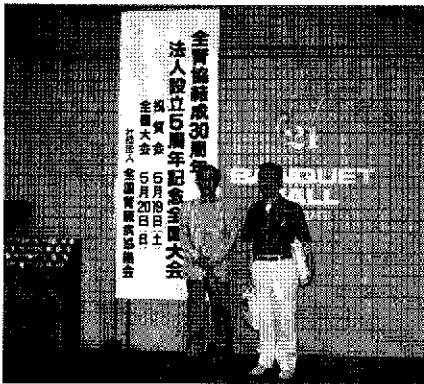
一、「二世紀初頭の腎不全患者

の医療と介護―医療経済学の視点から」と題して日本福祉大学

の二本立先生の医療講演。

二、「三〇年をともしに歩んで」と題

してお母さんの川辺昌子さんと娘さんの千寿流さんとのこれまでの透析人生についてのトーク。



左より佐藤功・川村隆の両氏

三、「二世紀の腎不全医療について語る」と題して新里高弘先生/名古屋大学大幸医療センター助教、下条文武先生/新潟大学教授、寺岡慧先生/東京女子医科大学教授の三名の先生によって医療講演。

その中から二本立先生のお話から興味深い話を報告させていただきます。

ひとつは日本の透析医療が世界一となったのは、専門医と全腎協の共同が原動力となったこと。

二番目には患者一人当たりの透析医療費が三〇年前は一〇〇〇万円/年だったものが現在は六〇〇万円まで下がった。このことでの

裏話があつて厚生省は三〇年前に急激に増えた患者の対応をどうするかで医療関係者を儲けさせることを考え普及させたそうです。その後は単価を下げていくことで透析に関わる医療費を安定させてきたとのことでした。

最後には透析医療技術の進歩で長期透析者が増え合併症や高齢化の為、腎不全患者の医療と介護とを一体化する必要が生まれてきています。とのお話がありました。

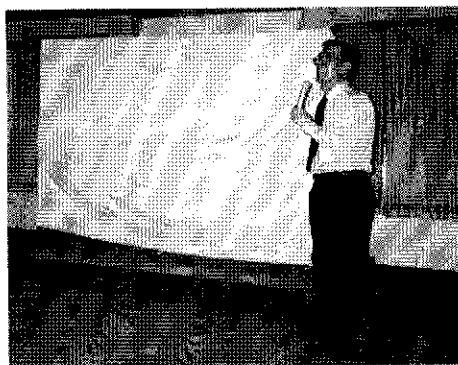
今回の総会を総評するなら、医療講演が多かった為か、人の話を集中して聞くというものはたいへん難しいと感じさせられました。というか眠気との戦い？

そんな中でも全腎協が三〇年歩んできたことを見せられると自分自身必死に生きてきたけど、家族や廻りの人や日本の社会に支えられてきた事を思うと、これから「私たちが生きる事」を真剣に考えていかなければならないと感じました。

運営委員 川村 隆志

(宮の森記念病院)

研修会開かる



りの盛況ぶりでした。

平成二三年五月二七日(月)午後三時より、北区にあるホテル札幌会館七階の会場に於いて、札幌北クリニックス院長今忠正先生と井村卓副院長先生により研修会が開かれました。

院長先生による研修会は久しぶりとあって、患者さんや家族、スタッフ総勢七〇名余

の盛況ぶりでした。研修会は札幌北クリニックスが主催で、北クリニックス友の会が後援という事で行われ、院長先生からはスライドをもとに「すこやかな透析」というテーマでお話があり、現在、当院で使用しているハイパフォーマンスのダイアライザーにより、患者さんの透析効率も向上し、特にβ₂ミクログロブリン値も低下し、手根管症候群等の発症も遅らせる事も可能になって来ています。また、エリスロポエチン(造血ホルモン)剤が出来た事で、昔の様に貧血で苦しむ患者さんも居なく成りました。体重管理に関しては、透析から透析の間の体重増加は

基礎体重(ドライウエイト)の五%以内を目標にする事が透析中のトラブルを少なくする事になります。またフランスとイギリスの透析を比較して、日本型の透析をしているイギリスでは、透析一〇年目の生存率は四〇数%なのに対して、フランスでは、古い型のダイアライザーを使用しているが、透析時間が八時間と長く、透析一〇年目の生存率は七〇%を超えているとの事



で、日本の学会でも長時間の透析には延命効果がある事が言われているとの事。

続いてお話をされた井村副院長先生からは、最近当院で透析器械の全機種を新しい機種に統一しましたが、その器械についての説明があり、残念ながらマイクの不調により後方に座していた私には、はっきり聞こえない部分がありました。除水の設定には五段階の方法があったり、透析の後半に患者さんの体温が上昇し易く、血管が拡張し、血圧が下がる原因の一つになるけれど、それを血液の温度で感知し、温度を一定に保とうとしたり、オンラインHDFも行われている事などスライドを使ってお話されました。お二人のお話は参加された皆さんに大変好評でした。また是非、機会を見つけて開催して頂きたいと思えます。

札幌北クリニック2

第二回パークゴルフ大会



六月一七日(日)、東区にある
さ・と・ら・ん・どに於いて、札幌北
クリニック友の会主催のパ
ークゴルフ大会が昨年にひき続
き開催されました。
さ・と・ら・ん・どは、札幌市とサ
ツラク乳業(株)が共同出資して
いるもので、近くにはモエレ

沼公園などもあり札幌市民の
憩いの場となっています。

患者一四名、家族二名、看
護婦さん四名の計二〇名が午
前九時に札幌北クリニックに
集合し、車に乗り合わせ会場
へ向かいました。

午前一〇時過ぎに四人一組
となってゲームのスタートで
す。空振りする人、OBを出
す人、大叩きする人ありと珍
プレーの続出。勿論日頃の練
習の成果をきっちり出す人も
居ました。全一八ホールを約
二時間かけ全員無事?に終
了。ゲーム終了後、会場の北
側にあるセンターホールの二
階で各々昼食を摂りながらゲ
ームを振り返り、また盛り上
がりました。昼食代は当然な

がら白腹でした。その後場所
を移して表彰式を行い、戦前
は、にこやかな笑顔の中にも
「今日こそは」と胸中に秘め
たものは各々大きかったらう
と思います。結果は実力通
り?となった様です。

米年こそはとくやしさをこ
らえて、いい汗をかけたので
よしとして無事大会を終了し
ました。

札幌北クリニック友の会で
は七月八日(日)に積丹半島一周
バスツアーも予定しており、
浜鍋が用意されているとか。
次号の「生きる仲間」でまた
報告出来ると思います。ちな
みに私の成績はノーコメント
です。



おもしろ雑学

赤い梅干しは

江戸時代から

梅干しは、数百年も前か
ら日本人に親しまれ、現在
も愛用されている古くて新
しい健康食品です。昔の武
士は合戦の際に携帯し、息
切れがすると梅干しをジッ
と見たといい、見るだけで
薬効十分だったのです。江
戸時代になって、シソの葉
を入れて梅干しを漬けるよ
うになり、また、保存食とし
て一般家庭にも普及しまし
た。シソの葉を使用するの
は着色のためであり、赤い
梅干しのほうが視覚的にも
食欲をそそります。さて、梅
干しの効用は数知れません
が、病原菌の殺し屋として
は抜群の力を発揮します。
赤痢菌、コレラ菌、大腸菌、
結核菌、ビブリオ菌(食中
毒の原因となる)などが梅
の実(梅干し)の絶大な殺菌
力に負けてしまうのです。

房総半島の旅に参加して

山本 光雄

(渡井医院)



望室にはテレビドラマのセツトも有りスタジオの疑似体験もできる。

お台場は東京の人気スポーツであり大変な賑わいです。

時間は充分有りますがこの日は風が強く歩くのも大変で早々と宿泊ホテルに向かいました。ホテルグランパシフィックメリディアンは二〇〇一年六月で三年を迎え、クラシックの調度品や吹き抜けのエントランス等素晴らしい。部屋から見る夜の景色レインボーブリッチ、ネオンの変化で色が変わる観覧車と夢のようなひとときでした。夕方、屋形船で荒川より二時間の船旅、屋形船での船上宴会です。東京湾の取り立てのメゴチ、キ

ス、アナゴなどの天麩羅を堪能、海上から見るお台場の風景はまた格別でした。近くに多くの屋形船が集まりまるで別世界のようなです。帰路にはライトアップされた帆船、海王丸等四艘の勇姿を見ることもできました。

五月二一日(月)

お台場のホテルを出発、いよいよ房総半島の旅です。

年間一、二〇〇万人もの人が家内安全、商売繁盛、交通安全を願ひ参拝する成田山新勝寺、「将門の乱」平定祈願のために、「弘法大師作と伝えられる不動明王をもたらしたのが起源とされ、開山以来真言宗の大本山であり、国宝級の建物に圧倒されました。皆様方の健康と幸せを祈願九十九里浜へ向かう。

砂地の海岸線が約四〇〇キロ続きバスで走っていても見事な海岸線で有り、自然破壊

が言われている昨今、何時迄も残しておきたい。都会に近いせいか平戸なのにウインドサーフィンの若者達の姿が見られた。途中のドライブインで昼食、生きの良い魚が旨かった。

次に向かったのが日蓮上人が生まれた誕生寺で有りますが、道中、名曲「月の砂漠」をモチーフにした加藤まさを生んだ御宿町六軒町の街灯に、ラクダとお月様が飾られた印象的でした。

誕生寺は、一二七六年日蓮上人の生誕を記念して建立され、鯛せんべいなどの土産物屋が並ぶ参道は一年中賑わうそうです。私達も土産を選ぶのに大変でしたが、旅行の楽しみの一つと思っています。

その後、鴨川シーワールドでシャチ、アザラシ、の見事なショーを見学、しばし童心にかえりました。

ホテルに入り休息したあと
全員で会食、自己紹介。三日
日にも成りますとお互い気持
ちが通じ合い和やかな食事に
に成りました。旅行中大候に
恵まれ楽しい旅行もいよいよ
明日は最終日。

五月二二日(火)

予定を変更八時に出発野島
灯台を見学、日本で二番日に
建てられ西洋式の灯台、頂上
まで登る元気もなくもどって
来る。

白浜フラワーパークに立ち
寄るがお花の時期が終わり期
待外れ、帰路羽田に向かう。

いよいよ東京湾アクアライ
ン・海ほたる。爽快感を体中
に感じ東京湾の真ん中を疾走
する。千葉の木更津と川崎を
結ぶ全長一五・一キロの国道、
ほぼ中央に位置する人工島の
海ほたるパーキングを挟み木
更津側は橋脚部、川崎側は海
底トンネルになっている。

海ほたるには、レストラ
ン、ショップ、アミューズメ
ントなどが有り、展望デッキ
からは刻々変わる素晴らしい
景色がみられるようですが、
この日は霧がかかり見るこ
が出来ず残念でした。資料館
を見学、アクアラインが出来
るまでの工事の様子と日本の
上木技術の素晴らしさを認識
致しました。

昼食後、最後のショップピ
ングでお土産を買い、羽田空港
へ向かう、空港で函館組の方
々と来年の再会を約束し別
れ、私達は千歳に向かいまし
た。

札幌は気温が低く肌寒い、
しかし皆さん元気に帰郷致し
ました。
年に一度の大旅行、日頃の
節制と自己管理と体力の維持
を心掛け来年の目的に向かっ
て頑張りたいと思っていま
す。

投稿

知っていても荷物にならぬ

ニヶ森茂夫

(札幌厚生病院)



最近本州の学校の先生から
「ソーラン節のソーランとは
何ぞ」と問い合わせが多くあ
る、問われてみると答えてく
れる人は北海道人でも誰もが
首を傾げるから面白い、さて、
ニシン漁の作業にふれながら
お話ししたいと思う。先ず陸
(波止場)から漁場(建網設置
場所)まで歌われる「舟こぎ

流し音頭」、急ぐ場合と、の
んびり漕ぐ場合と多少音頭が
異なる。漁場に着くや建網に
入ったニシンを、杵網という
袋状になっている網に落とし込
む、この時「網起し音頭」が
歌われ、皆が力を合せて作業
する大切な場面でもある。一
寸油断すると、せつかく網に
入ったニシンを起し切れなく
なって投げってしまう場合もあ
るそうです。最も息を合わせ
迅速な操作を必要とするので
ある。「ホーラーエー」これ
でも起きねば「ヤーエー、ヤ
ートコセーヨイイヤナー、ホ
ラ神々頼むヨイイトナー」と
切り声がかかる、さて袋状に
落とし込んだニシンを舟ト(追
い舟)にすくい上げる時に、

いよいよ「沖揚げ音頭」ソーラン節の掛声が始まる。直径一メートルもあるタモ網を三人掛りで操作し、桡船に汲み上げるのだが、他の物は、あんばい棒（棒の先が二股になっている）でタモを沈めニシンを一杯に入れる。ニシンが一杯になるまでの間「ソーラン、ソーラン」と何回ともなく音頭をとり、一杯になった所で「ヤンサノドッコイ」で舟に汲み上げる。普通二本のタモを交互に桡網を入れて作業するわけで、忙しさは言葉にならない。一方を上げている間に、一方を沈める、その間に大波の加減でタモが一気に浮き上がり、一度も「ソーラン」がからず、いきなり「ヤンサノドッコイ」で汲み上げる。行程はさまざまで、そんな作業が二日も三日も続く「ソーレソーレ、ソラソラ」早く早くの勢を出す励ましの言葉に

「ン」を付けて「ソーレンソーラン」と言われ「ソーラン」が定着した。ソーレン節でも良かったかも知れない、さて陸では男女総出で舟を迎え、舟ポンテ（板橋）を、モッコを背負いニシンの陸揚げに活気付く。桡網には沢山の数の子が産みつけられ網の目がふさがる。そこで、竹の棒で「叩き子落し音頭」を唄い数の子を落す。これも大変な仕事、どれ一つとっても過酷そのものの、二日も三日も連続する仕事は飽きぐる、ソーラン節で、すべてが卑猥な即興ものが飛び出しドット笑い、眠気を覚しながらの仕事は、今の機械化社会では想像もつかないでしょう。雨の降る日は天気が悪い、おやじ俺より年寄りだ、下手な剣術間抜けの夜這い、いつもシナイでたてかける、等序の口で百首を越える。

投稿

一日一日を大事に

山田 礼子

(仁徳会病院)



朝夕寒い日が続いています
今日此頃、「生きる仲間」の
機関紙に載せて頂ける事にな
り、作文のニガテな私が書く
事になり、これも私の挑戦の
一つと考え引き受ける事にな
りました。私は透析を始めて
ようやく一年と八ヶ月が過
ぎ、病院にも大分なれて毎週
三回水金と一口おきの透析

が無事終わる事を願い、そして先生、スタッフ、栄養士さんの食事の気くばりに感謝しつつ穏やかに毎日を過ごさせて頂いております。思い起こせば、昭和五六年に腎盂炎、風邪がもとでこじらせ、酸素吸入しながら助けられ、平成二年にすい臓を患いはしか、左肺水腫、水泡瘡とその他etcと数えきれない程、病をしてまいりました。将来は透析とその頃から言われつづけて一〇年頑張り通し、いよいよ足のむくみ、顔のむくみが出て平成一一年一〇月に手術をする事になり腹を据えて、もう私の人生はこれで終りと怒りといらだちで、もうどうにでもなれとなげやりの思いが

こみあげてきている自分がくやしかった。なぜ私だけがこんな病氣ばかりしなくちやならないのか、そんな時二〇年米の友達の一言が胸につきささったのです。「貴方よりもっとひどい人もいる。歩ける

事、話せる事、動ける事、泣く事、笑える事の自分がいまここにいる」。「あっそうだ」今は機械も発達しコンピュータの時代、これを契機に生きて生きぬいて人生を全うしよう、と、「健康であつても、明

日は我が身何が起きるか分からないこの「十一世紀」一日でも生き延びて毎日を感謝しつつ、幹事になって色々な行事に参加させてもらい明るく楽しく、そして同じ仲間同士との交流をと願いつつ人々に

尽くす事が恩返しと思つています。そして一人でも多くの方々に医療費他、福祉制度など何も分からない私ですが、協力していただける様に頑張つてまいりたいと思ひます。

介護保険に関する説明会報告

会長 鈴木啓三

平成二二年九月三〇日（土

曜日）午後一時三〇分より札幌市医師会館五階大ホールにおいて、札幌市の介護保険担当部長高本光藏氏を講師にした、介護保険に関する説明会「市民の皆様へ」が開催されました。

説明会は、札幌市医師会副会長のあいさつにはじまり、講師の部長さんより、1. 札

幌市の高齢化の状況、2. 介護保険の施行状況、3. 介護

サービスの流れ、4. 介護保険対象サービスと対象外サービス、5. 費用負担の仕組み、6. 今後の課題等以上の六項目について説明がなされました。

中でも、利用者の約1割の方にアンケートを実施した結果、おおむね満足していると

のことで

2の介護保険の施行状況では、平成九年一二月に介護保険法成立以来準備を進め、今年四月より実施しています。札幌市の要介護度は全国平均より低いということ

です。また、介護支援専門員（ケア・マネージャー）の数が全国で一六万人、北海道では

九、〇〇〇人、札幌市では二、七〇〇人と、まだ少ないです

が今年も十一月一日に試験があり、人数不足は緩和されると思われるということ

です。5の費用負担の仕組みでは、市町村の負担が一二・五%、道の負担が二二・五%、国の負担が二五・〇%で、六

五歳以上の方の保険料が一七・〇％、四〇歳～六四歳までの方の保険料が三三・〇％になっていて、利用者の利用料は一割負担となります。

6の今後の課題等では

(1) 国における動き

① 要介護認定の一次判定基準の見直しへの具体的な動きがあるそうです。

② 訪問通所サービス（デイサービス）、短期入所サービス（ショートステイサービス）の利用料が償還制になっているのを1割の負担ですむようにしたい。

⑤ ホームヘルプサービスが家政婦化しているので、家事援助サービスの見直しを、市町村の意見を聞きながら進めていきます。

(2) 札幌市の取り組み

① 「高齢者保健福祉計画」及び「介護保険事業計画」に推進委員会を作ります。

② 低所得者対象として、社会福祉法人は介護保険利用料を5%にできる。

③ 相談・苦情処理の窓口の強化と介護保険制度の広報に力をいれます。

④ 総合的な高齢者保健福祉サービスの展開では、介護保険と福祉のまち推進事業を実施します。

最後の質問の時間では

① 介護保険について説明会を開きたいのだが、それに伴う会議室料やコピー代の補助をしてもらえないか。

答 町内会などが区民センターなどを借りるときに

は補助が有るし、資料などを揃えることも出来ませんが、お金では出せません。

② 医療保険と介護保険の使い分けは誰がするか。

答 原則的にはお医者さんがします。

③ 八三歳で身体障害者四级だが、介護保険の保険料に身体障害者は考慮してくれているのか。

答 介護保険の保険料は身体障害者だろうが寝たきりだろうが同じです。

④ 母が寝たきりで介護保険にかかる可能性が無いと医師にいわれたが、保険料を払わなければならぬのか。

答 お気の毒ですが保険と

いう性質上保険料は払って頂きます。

⑤ ケアマネージャーの所得保障をして欲しい。施設によって利用料が違うので周知徹底して欲しい。

答 ケアマネージャーの所得は仕事量によって変わる。介護保険の利用料はサービス名が同じでも内容が違うことがあるので、利用料も違うことがある。

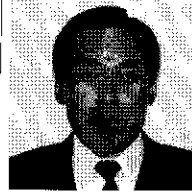
⑥ 住宅改修費の二〇万円は何回も請求できるのか。

答 一回だけしか請求できません。

以上の質問と回答などがあり説明会は終了いたしました。

平成一三・一四年度
役員紹介

会長



鈴木 啓三
(札幌北クリニック)

副会長



堀井 和彦
(光星泌尿器科医院)



鈴木 友幸
(札幌厚生病院)



村本 徳雄
(札幌北クリニック)

会計



石井 典子
(光星泌尿器科医院)

事務局長

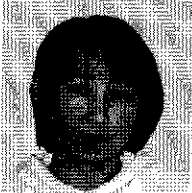


柳沼 正一
(うえと医院)

事務局次長



伊藤 文夫
(南一条病院)



吉田季代乃
(H・N・メディック)

運営委員



棚田まゆみ
(田島クリニック)



菫木 芳三
(自衛隊札幌病院)



三沢 祥子
(いのけ医院)



川村 隆志
(宮の森記念病院)



佐藤 功
(光星泌尿器科医院)



梅田 明
(NTT東日本札幌病院)



山本 光雄
(渡井医院)



中村ひとみ
(南一条病院)



澤内 繁雄
(仁楡会病院)

会計監査役

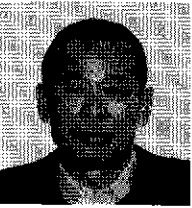


岩館 二男
(南一条病院)

幹事



三上 照美
(田島クリニック)



遠藤 兼市
(石川泌尿器科)



伊藤 邦夫
(石川泌尿器科)



横堀 信雄
(稲穂公園駅前クリニック)



沢田 英子
(稲穂公園駅前クリニック)



三宝 正延
(H・N・メディック北広島)



前田 吉雄
(H・N・メディック北広島)



西山 道博
(H・N・メディック)



佐藤 朱美
(いのけ医院)



高柳 昌一
(稲荷公園駅前クリニック)



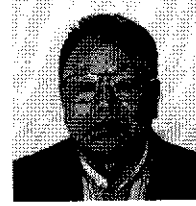
西海 一夫
(北三条泌尿器科クリニック)



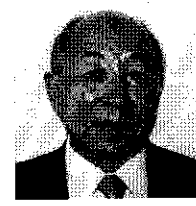
雨宮 英子
(兼古循環器クリニック)



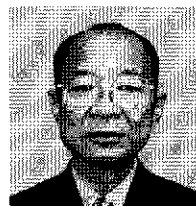
樋口 義市
(小笠原クリニック札幌病院)



河野 恒雄
(NTT東日本札幌病院)



稲田 邦昌
(NTT東日本札幌病院)



熊谷 徹
(クボタ泌尿器科クリニック)



西田富美子
(勤医協中央病院)



中村 喜公
(勤医協中央病院)



遠藤大三郎
(勤医協中央病院)



川島 静子
(清田泌尿器科)



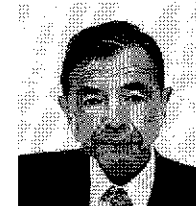
豊島 俊三
(板泌尿器科病院)



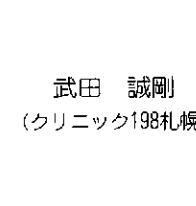
山岡 裕子
(幌南病院)



太田 稔朗
(幌南病院)



山崎 浩一
(芸術の森泌尿器科)



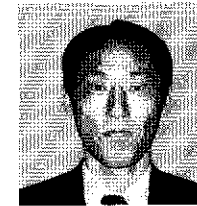
武田 誠剛
(クリニック198札幌)



井出 孝之
(札幌セントラルクリニック)



池田 優子
(札幌厚生病院)



正岡 正由
(札幌北クリニック)



須坂多恵子
(札幌北クリニック)



高橋 幹子
(札幌北クリニック)



新井 静子
(札幌北榆病院)

表田 勇
(札幌北榆病院)



鈴木 英二
(札幌北榆病院)



佐々木美智子
(札幌東クリニック)



西山 利彦
(札幌セントラルクリニック)



岡田 順子
(三樹会病院)



今 武雄
(佐藤医院)



関根 睦子
(札幌北榆病院)



加藤 久子
(札幌北榆病院)



富士山 正子
(札幌北榆病院)



望月 悦子
(仁榆会病院)



斉藤 好子
(仁愛会外科クリニック)



中崎美津子
(仁愛会外科クリニック)



中嶋 一夫
(J.R札幌鉄道病院)



石墨まち子
(J.R札幌鉄道病院)



三浦勝治郎
(ていね泌尿器科)



高木 和彦
(手稲ネフロクリニック)



本田 敏
(桑園中央病院)



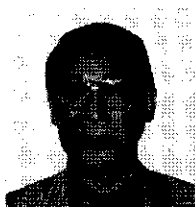
大塚 艶子
(澄腎クリニック)



山田 礼子
(仁榆会病院)



田中 孝幸
(はまなす外科医院)



岡崎 政司
(新井田医院)



南出 陽雄
(新井田医院)



福原真理子
(中野医院)



新山 正紘
(中野医院)

大波 洋助
(渡井医院)



小山 隆夫
(福住泌尿器科)



小澤由紀恵
(宮の森記念病院)

下川 勉
(北光記念病院)

外崎 豊
(広田医院)



三上留美子
(南一条病院)

道腎協派遣役員
事務局次長



宮本 好和
(南一条病院)

相談役



大和美恵子
(渡井医院)

難病連全道集会

医療講演 「糖尿病と透析の自己管理について」

講師 光星泌尿器科医院院長 上戸 文彦 先生

日時 8月5日(日) AM10:00より

場所 中央区南3条西12丁目 ホテルユニオン 4階 大樹

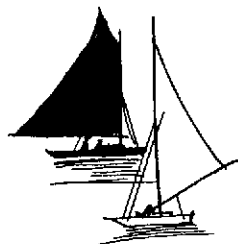
— 皆様の参加をお待ちしております —

〔事務局より〕

先日、匿名の手紙により、
会費納入の際の領収書の件に
つきまして質問を受けました
が、当会では会費納入袋への
施設幹事さんの捺印をもって
領収書とさせていただいてお
ります。

又領収書を必要とされる方
には施設幹事に申し入れてく
だされれば別途発行致しており
ますが、何か行きがちがいがあ
ったかもしれません。

尚、御意見・御質問のある
方は、住所・氏名を明記の上
でしていただければ、的確に
お答えできると思えますの
で、よろしくお願い致します。



〔訃報〕

南一条病院の幹事として、会活動にご尽力を戴いていた勝世正夫氏が二月に、手稲溪仁会病院の幹事として会活動にご尽力を戴いた棚田英明氏が三月に永眠されました。生前のご活躍をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



故 勝世 正夫 氏



故 棚田 英明 氏

ご協力ありがとうございました

青い鳥ハガキをいただきました。大切に使用させていただきました。ご協力ありがとうございました。(敬称略)

高橋 幹子

●札幌東クリニク

木田 幸子 佐々木美智子

●三樹会病院

広田 輝男 佐々木進一

●仁愛会外科クリニク

岩部 浩子 中崎美津子

長田 初枝 榊田 郁子

三浦日出子 成田 道子

石塚 孝造 阿部 拓也

●仁検会病院

山田 礼子

●中野医院

福原真理子

●南一条病院

宮本 好和

森田 紀子 大築 恵子

高橋 節子 上田富美子

赤川 良介

●うえと医院

柳沼 正一

●勤医協中央病院

木谷 憲男 西田富美子

柳山 幸子 猪村 久子

●光星泌尿器科医院

佐藤 功 石井 典子

堀井 和彦

●札幌北クリニク

鈴木 啓三 正岡 正由

権平 裕二 村本 徳雄

斉藤 康則 金丸 洋子

●稲積公園駅前クリニク
沢田 英子 佐藤 京子
坂本ウメ子 清水 フミ
木村 敬

●H・N・メディック

阿部 康子 佐藤 稔

小関 真弓 皆川 章

吉田季代乃 斉藤加陽子

越野 栄子 鹿内 明志

三浦のり子 八木 亀一

村瀬 文子 種本 清

〈事務局活動経過報告〉

- 2月22日 幹事会案内発送
事務局打合せ(クインテス4名)
- 2月27日 各施設患者数調査発送
- 3月3日 幹事会打合せ(クインテス13名)
- 3月8日 “ぜんじんきょう” 184号発送
幹事推薦状発送
- 3月15日 “どうじん” PR版82号発送
- 3月18日 第3回幹事会
(北区民センター41名)
- 3月29日 事務局打合せ
- 4月5日 会費納入願い発送
幹事会報告発送
- 4月19日 第26回総会案内発送
“生きる仲間”編集委員会
(クインテス7名)
- 4月24日 施設訪問(手稲ネフロクリニック、ルカ病院)
- 4月26日 “生きる仲間”議案書発送
事務局打合せ(クインテス5名)
- 4月29日 総会打合せ(クインテス10名)
- 5月10日 “ぜんじんきょう” 185号発送
道腎協総会ポスター発送
- 5月12日 “どうじん” 83号発送
“生きる仲間”(臨時号) 発送
- 5月13日 第26回定期総会
(北区民センター69名)

■事務局だより■

◎難病連への協力事業として毎年取り組んでおります大通ピアガーデン利用券の販売(7月31日まで)にご協力願います。

◎恒例の炊事遠足を8月26日(日)に予定しております。詳細はポスター等でお知らせ致しますので、大勢の方のご参加をお待ちしております。

◎寄付を頂戴しております。

・故 勝世 正夫様(南一条病院)
の奥様より

300,000円

・南一条病院 宮本 好和様より

20,000円

・札幌北楡病院 田中 キエ様より

30,000円

・小樽後志地方腎友会
斉藤 一子様より

20,000円

ありがとうございました。

大切に、会活動に役立たせていただきます。

編集後記

今度編集委員になりました。皆様に親しまれ興味ある紙面作りでお役に立ちたいと考えています。

さて介護保険ひとつとっても色々な問題がでてきました。このままの状況でいきますとますます苦しくなる一方です。私達をとりまく透析医療のことにもつながってきます。一人ひとりが会の活動に参加して一緒に頑張りましょう。

エピソードや一言メッセージ等気楽な気持ちで投稿してみませんか! (木谷)

会員の皆さん、日頃のご協力有りがとうございます。

いよいよ夏が来ました。「良く食べ、良く遊び、良く働く」、時々お日様に当り汗をいっぱいかく事が一番ですね、暑い夏も水分とって十分な汗をかけば皮膚もうるおい、若がえった気持で頑張れます。夏を楽しもう。(柳沼)

(購読料は会費に含む)

頭面150円